

駐車場ののご案内

駐車場はP1・P2・P3の3カ所合わせて213台分あります。
総合受付(診療スペース)は3階にあります。エレベーターをご利用ください。

■ 駐車料金

外来
5時間まで 100円 ※以降30分毎200円
面会 一般
30分毎 200円

※10分以内に出庫した場合は、無料です。

■ 地図



■ 満車の場合は、周辺指定駐車場をご利用ください。

	営業時間	外来	面会	一般
① 末広駐車場	24時間	6時間まで 無料 ※以降30分毎100円 (末広70円)	2時間まで 無料 ※以降30分毎100円 (末広70円)	30分毎 70円
② サンファール駐車場				30分毎 100円
③ 市民会館駐車場	9:00~21:30 火のみ17:15まで			
④ 市役所南駐車場	8:00~20:00			

シャトルバスのご案内：④市役所南駐車場と病院間を運行します。(平日8:00~17:00)

詳しくはホームページをご覧ください

NEWS

New hospital from East, West and South medical center
2018年4月桑名東・西・南医療センターが1つになり新病院が誕生しました。

桑名市総合医療センター 公式ページ URL / www.kuwanacmc.or.jp

桑名市総合医療センターニュース
第53号 2018年4月発行



〒511-0061 三重県桑名市寿町三丁目11番地
お問い合わせ先 桑名市総合医療センター広報

発行元：地方独立行政法人桑名市総合医療センター
TEL: 0594-22-1211

NEWS

Kuwana City Medical Center

vol.53 | 新病院特集号



Take Free



病院長あいさつ

平成24年4月に桑名市総合医療センターが設立され、これまでは東、西、南医療センターとして3病院で診療を続けてきましたが、いよいよ4月に新築した1つの病院に集約されます。

桑員地区の中核病院として急性期医療を提供できる質の高い診療機能の実現に重点を置き、救急医療を強化し、当地の課題であった小児周産期医療の拡充を図り、未熟児や異常分娩などの対応をしていきます。さらに、放射線治療装置の導入によりがんの治療にも力をいれていきます。

私は、地域医療センター長を兼任し、他の医療機関の先生と連携し、共に地域の皆様を守っていきたくと思います。新病院の基本理念「最良の医療を提供し、地域の皆様から信頼され必要とされる病院」を目指すため、患者さんを中心に考え、真心・思いやりの医療を提供し、最先端を行く高性能な病院にするため努力してまいります。

どうぞよろしく願いいたします。



市川 毅彦

理事長あいさつ

桑名市総合医療センター新病棟の開院

桑名市民の皆様待望の桑名市総合医療センターの新病棟が、いよいよ4月に開院します。新病院は外来棟と入院棟から成り、病床数は新入院棟に321床、2018年12月に完成予定の改修棟に79床の計400床になります。

桑員地域の急性期医療を担う中核病院として、近隣の医療機関や介護施設と協力し、成人や小児の救急医療や周産期医療を強化します。常勤医師が大幅に増え、放射線治療や核医学診断、高精度MRIなど新規に導入される高度医療機器を活用して、「がん」「脳卒中」「心臓病」など種々の疾患の診断や治療水準を高めます。また腎臓病やリウマチなどの慢性疾患にも力を注ぎ、地域医療支援病院や災害拠点病院をめざします。三重大学病院と緊密な連携を保ち、病院機能を高めます。

私達職員一同、桑員地域の皆様に信頼される病院をめざして頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

竹田 寛

看護部長あいさつ

昨今まで、東、西、南の3医療センターが、それぞれに進めていた医療でしたが、ようやく5月1日に一つになり、新病院としてスタートします。このことは地域住民をはじめ、私達職員も心待ちしておりました。性格の異なる3つの病院が一つになるのは、並大抵ではありませんが、新病院に向け様々な準備をしていく中で、固い絆で結ばれ、一体感が強まったような気がしております。

新病院では、重症病棟を含めて、9病棟あります。新規採用者も40名近く入職します。1部署に3病院のスタッフが混在する状況ですが、30年度の看護部目標を「互いに信頼し、学び合い、認め合って、動きやすい職場環境を作り、地域の皆様に満足していただける優しい看護を提供します」と掲げ、みんなで力を合わせて取り組んでまいります。どうぞご安心ください。

そして、地域の皆様方には、これからも今まで以上にご支援を賜りたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。



野中 時代

春。ここからはじまる 新病院のカタチ

桑名市総合医療センターの基本理念、それは「最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼される病院をめざす」。
安全かつ高度で専門的な医療を地域の皆さまに提供するために、3センターを集約した新病院の整備がこの春完了し新しい病院として生まれ変わります。

「患者さまが主役の病院」

プライバシーが守られる快適な環境で安心できる医療を受けられます。患者さまとの信頼関係を築き、患者さまがご自分の意思で治療方針を決定できる病院を目指します。



「高度で専門的な医療を受けられる病院」

地域の皆さまに信頼される医療スタッフを育てるとともに、高度な医療器機を整備します。さまざまな職種の医療スタッフがチームとなって、互いに連携・協働し、高度で安全な医療を提供します。

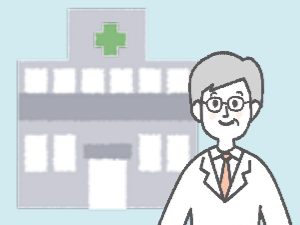


新病院

4つのコンセプト

「地域完結に向けた病院」

地域の皆さまが安心して暮らしていけるよう「かかりつけ医」との連携を強め、地域医療の拠点病院としての役割を果たします。



「職員が働きやすい病院」

セキュリティ・システムにより安全を確保した施設で、24時間対応の院内保育所、当直室などを設置します。職員一人ひとりのモチベーションが高まる働きやすい環境を整えます。



病院概要

名称	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
所在地	三重県桑名市寿町三丁目11番地
病床数	321床（既存棟79床 改修中）
診療科	内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科 膠原病リウマチ内科 血液内科 脳神経内科 腎臓内科 呼吸器内科 総合診療科 小児科 産婦人科 精神科 外科 消化器外科 乳腺外科 心臓血管外科・呼吸器外科 整形外科・リウマチ科 脳神経外科 眼科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 皮膚科 放射線科 歯科口腔外科 救急科 リハビリテーション科 病理診断科 麻酔科
施設概要	外来棟 コンクリート造（制振構造）5階 入院棟 鉄骨鉄筋コンクリート 一部鉄骨造（制振構造）10階 外来棟 延床面積 7,531㎡ 建築面積 1,960㎡ 入院棟 延床面積 24,828㎡ 建築面積 3,408㎡

Contents

センター紹介

【消化器センター】 消化器内科、消化器外科	6
【循環器センター】 循環器内科、心臓血管外科・呼吸器外科	7
【脳卒中センター】 脳神経外科、脳神経内科	8

診療科紹介

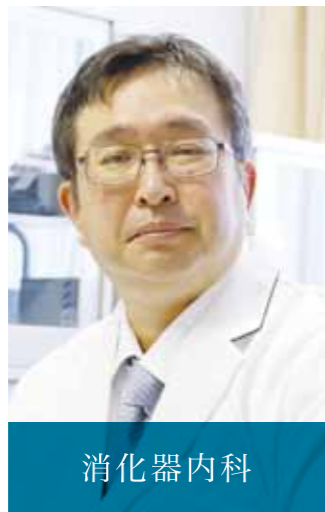
糖尿病内分泌内科／膠原病リウマチ内科	9
血液内科／腎臓内科／呼吸器内科	10
総合診療科／小児科／周産母子センター	11
産婦人科／精神科／形成外科	12
整形外科・リウマチ科／乳腺外科／眼科	13
耳鼻咽喉科／泌尿器科／皮膚科	14
放射線科／歯科口腔外科／救急科	15
リハビリテーション科／病理診断科／麻酔科	16
健診センター／地域医療センター	17

施設紹介

外来棟	18～19
入院棟	20～27



消化器センターは、消化管（口腔、食道、胃、小腸、大腸）、肝臓、胆道、膵臓疾患の診断、治療を行い、消化器内科、消化器外科、口腔外科の専門医師が治療にあたります。とても広い領域におよぶ器官が対象なので、関連する疾患は多く治療の選択も多岐にわたります。センターでは必要に応じて内科医と外科医が連携して一人の患者さんを診ますので、切れ目なく必要な治療を行うことができます。各科が協力し、患者さんに対し、最良の治療が行えるよう努めます。



消化器内科

副病院長(消化器センター長)

いしだ 聡
石田 聡

他科との協力体制を強化し、
診断・治療を行います

消化器内科では、消化器癌の診断と治療に力を注いでいます。食道癌、胃癌、大腸癌の早期発見に努め、内視鏡的切除による低侵襲な治療を積極的に行います。C型慢性肝炎に対する経口ウイルス剤を用いた新しい治療を行い、ウイルスの排除を行うとともに、肝癌に対しラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓術や分子標的治療薬を用いた治療を行います。膵臓・胆道の腫瘍の場合は、超音波内視鏡（EUS）を用いた吸引細胞診（EUS-FNA）を行うことで、診断率が従来に比べ格段に向上しました。

新病院では、外科など他科と協力し、消化器領域において迅速な診断、最適な治療を行います。



消化器外科

副病院長(消化器外科部長)

とのうち 仁
登内 仁

医師や治療環境が充実し、
迅速で適切な医療を提供します

消化器外科では、消化器疾患の手術を主にしますが、進行がんなどに対してはガイドラインに則り、化学療法、放射線治療を手術とともに計画します。また、胃癌、大腸癌、胆嚢結石、虫垂炎、鼠径ヘルニアなどに対し、これまでの実績から低侵襲と判断すれば腹腔鏡手術をおすすめします。さらに、外科救急に対してもより積極的に対応できます。

新病院では、消化管、肝胆膵の各領域の専門医師が一つのチームで診療することになり、総合力が大幅に向上します。地域の先生方、市民の皆さんに信頼される外科を目指し全員で頑張ります。



新病院では、新たに循環器センターを開設します。当センターは、循環器内科医と心臓血管外科・呼吸器外科医で構成されています。心臓や血管についての、重大な病気が多いことが特徴です。十分な経験知識を有する医師や多職種の専門スタッフで力を合わせ、カテーテルや手術、お薬を用いて迅速かつ適切な治療をするともに、患者さんの苦しみを取り除き、少しでも早く元気になって頂けるよう尽力します。



循環器内科

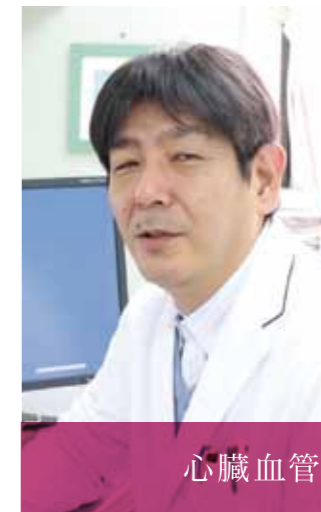
副病院長(循環器センター長)

やまだ 典一
山田 典一

安全かつ
質の高い最新の
医療を提供します

循環器内科の対象疾患には、心筋梗塞、不整脈、心不全、大動脈疾患、肺塞栓症といった命に関わる病気が多いため、緊急性を要します。常日頃より迅速かつ正確に診断を下し、より早期から最適な治療を開始できる体制を整えます。また、新病院では新しい各種診断機器（アンギオ、CT、MRI、核医学検査など）の導入で、より診断能力がアップします。

患者さんと常に情報を共有し、患者さんを中心とした安全かつ質の高い最新の医療を提供します。



心臓血管外科・呼吸器外科

胸部外科(呼吸器外科・心臓血管外科)部長

ゆあさ 右人
湯浅 右人



心臓血管外科部長

やだ 真希
矢田 真希

心臓外科、血管外科、呼吸器外科の
3領域を担当します

血管外科は、腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術、末梢動脈狭窄・閉塞に対するバイパス術などを行います。下肢静脈瘤は従来のストリッピング手術に加えて、高周波（ラジオ波）を用いたClosureFAST®カテーテルによる焼灼療法を導入します。手術時間の短縮や痛みの軽減などが得られます。呼吸器外科は、自然気胸、肺嚢胞、肺腫瘍（原発性肺癌、肺良性腫瘍、転移性肺腫瘍）、縦隔腫瘍、外傷等に対して治療を行います。胸腔鏡を積極的に取り入れることで低侵襲としています。

心臓外科では、これまで行っていた腹部大動脈瘤や末梢血管の手術に加え、冠動脈バイパス術、心臓弁置換術など、今まで対応できなかった疾患も全て対応します。病院としての歴史は浅いですが県内トップクラスの治療を施せると考えています。心臓手術はチーム医療の代表と言っても過言ではありません。新病院では、多職種の専門スタッフと連携を取りながら、患者さんにとって最良の医療を提供していくことをお約束します。



新病院では、クモ膜下出血・脳出血・脳梗塞など迅速な治療を要する脳血管障害に対して、脳卒中ケアユニット (SCU) を整備し、多職種による専門スタッフと共に、365日24時間対応が可能な脳卒中センターを開設します。“脳卒中オール・イン・ワン”をキャッチフレーズに、ホットラインを開設して桑名・北勢地域の脳卒中患者さんを適切に搬入できる救急システムの連携強化と、従来手術と血管内治療を駆使して世界標準の急性期医療を提供できる体制が整います。



脳神経外科

副病院長(脳卒中センター長)

さかいた
阪井田博司

患者さんが適切な治療を受けられる充実した体制

脳神経外科の治療対象は、脳血管障害を初めとする脳腫瘍・頭部外傷・脊椎脊髄疾患・小児疾患・機能的疾患など多岐にわたります。新病院では、最新の検査機器と放射線治療装置を導入し、脳卒中ケアユニット (SCU) をはじめとする専門性の高い集中治療室が整備されます。関連診療部門との協力体制が充実し、最新機器を用いた先端医療や複数の治療を組み合わせた集学的治療が行える環境が整います。

脳神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉の病気を診断・治療する内科です。神経の病気は検査に異常が出ないことがあるので、症状を丁寧に聴いて診断に導くのが当科の特徴です。頭痛、物忘れ、しびれ、めまい、ふるえ、力が入らない、歩きにくい、しゃべりにくい、むせる、けいれん、物が二重に見える、このような症状が当科の診療対象となります。診療にあたっては、病院内外における多職種が連携するチーム医療を目指します。

脳神経内科

脳神経内科部長

ささき
佐々木良元

患者さんに関わる多職種でチーム医療を目指します

糖尿病
内分泌内科

増加する糖尿病に対し、チームで治療に取り組みます

糖尿病内科では、内服薬やインスリンによる治療を行います。インスリン治療は、外来でも導入します。また、他科の手術時など必要に応じて入院での血糖コントロールを行います。近年、糖尿病などの生活習慣病が社会問題になっていますので、栄養士による食事指導、看護師等による療養指導を行い、糖尿病の患者さんはもちろん予備軍の方へも必要な情報を提供します。

新病院では、少しでも不安なく診療を受けていただけるよう、多職種の専門スタッフでチームを組み対応します。



糖尿病内分泌内科部長

きたがわ
北川 良子

膠原病
リウマチ内科

患者さんとそのご家族に安心で安楽な医療を提供します

膠原病リウマチ内科では、関節リウマチ、痛風、全身性エリテマトーデス (SLE)、シェーグレン症候群、強皮症、脊椎関節炎 (強直性脊椎炎)、線維筋痛症、慢性疲労症候群などの治療をします。

三重県は他県に比べて、リウマチ専門医療を提供できる内科医が少ない環境ですが、当科では3名体制で完結型のリウマチ・膠原病医療を提供します。

患者さんと医療者が情報を共有し医学的決断を行い、一人ひとりに適した医療とケアを多職種の専門スタッフと協力し、行います。



顧問

まつもと
松本美富士

血液内科

近隣の血液内科と連携しながら外来診療を行います

血液内科では、赤血球(酸素を体中に運ぶ)、白血球(細菌やウイルスを攻撃する)、血小板(出血を止める)の数の異常、免疫の働きにおいて重要な働きをしているリンパ節の腫れ、凝固異常により血が止まりにくい状態を主に診断、治療しています。新病院では、週3回(火、水、金の午前中)、非常勤医師が必要に応じて近隣の総合病院血液内科と連携しながら外来診療を行います。



三重大学病院 助教(非常勤医師)
すぎもと 由香

腎臓内科

桑員地区の腎臓内科拠点病院として総合的な腎疾患治療を提供します

腎臓内科では常勤医師5名で腎疾患診療を行います。腎炎治療では検尿、血液検査、画像検査などで精査した後、必要であれば腎生検など精密検査を行います。その結果を踏まえて免疫抑制治療、生物学的製剤などの新しい薬などを用い専門的な治療を行います。

新病院では、CKD外来、糖尿病性腎症重症化予防外来など早期に腎不全治療ができるよう体制を整えるとともに、透析患者さんに対しても最新機器を導入し質の高い治療を提供します。



腎臓内科部長
やすとみ 安富 眞史

呼吸器内科

専門医が増え、診療が充実します

呼吸器内科では、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、呼吸不全、肺炎、間質性肺炎、肺癌など様々な疾患を診断、治療しています。治療することが理想的ですが、疾患と長い付き合いを余儀なくされた場合、日常生活が安定するようサポートします。

新病院では、常勤2名体制に加え、大学からの応援も増えます。正しい知識と判断、確かな技術、そして熱い真心をもって診療を行います。



呼吸器内科部長
えびほら 蛸原 愛子

総合診療科

さまざまな健康問題に対応します

総合診療科は、内科系のよくある症状(頭痛、かぜ、高血圧、腹痛、むくみ等など)はもちろん、複数の病気や診断が困難でどの科にかかったらよいのか分からない患者さんも診療します。身体・こころ・周囲との関係性などあらゆる視点から診るとともに、必要に応じて各専門医と連携し治療に当たります。新病院では全専門科が一つの病院に集まるので、よりスムーズな連携が可能になります。患者さんへのメリットが最大になるよう努めます。



三重大学病院 講師(非常勤医師)
わかばやし 若林 英樹

小児科

地域に根ざした小児医療を行います

小児科では、午前は初診外来で開業医の先生方から紹介された患者さんの診療をします。午後は、予防接種・乳児健診および慢性疾患外来を行います。

主な慢性疾患として、腎疾患、アレルギー疾患(喘息・アトピー性皮膚炎など)、神経疾患(てんかんなど)、内分泌疾患(低身長など)、心疾患(先天性心疾患、不整脈など)などを診療しています。

総合病院として各科と協力して、入院治療を必要とする患者さんを受け入れる体制を整えます。



小児科部長
もりたに 森谷 朋子

周産母子センター

新しい命とともに家族が健やかに暮らせるよう努めます

新病院では、治療・管理の必要な新生児を受け入れるため、新生児集中治療室(NICU)を6床に増床、新生児回復治療室(GCU)も併設しました。生後の適応過程から、退院に向けての指導、退院後の育児に連続したケアができるよう、産婦人科・小児科・その他の診療科、他職種が協力・連携してチームで対応します。

新しい命とともに家族が健やかに暮らせるように、私たちは努めます。



周産母子センター長
まじ 馬路 智昭

産婦人科

桑名地域の女性の方々の
一生涯を見守ります

周産期医療では、小児科及び近隣の周産母子医療施設と連携し妊婦搬送・新生児搬送受入を積極的に行います。また、婦人科医療では、婦人科腫瘍専門医及び内視鏡外科技術認定医スタッフをそろえ、婦人科がん治療から良性腹腔鏡下手術まで対応します。

さらに三重大学との連携でロボット手術の提供も始めています。桑名地域の女性の方々が、妊娠出産から生涯を通じて安心して過ごしていただけるよう精一杯尽力します。



産婦人科部長
もと はし 卓
本橋 卓

精神科

従来の精神科病院に
抵抗がある方も
気兼ねなく受診できます

精神科では、うつ病、うつ状態、不安障害、パニック障害、統合失調症、睡眠障害、認知症、アルコール依存症などが治療対象です。総合病院内にあるため、CT・MRIなど必要に応じた検査が受けられます。また、内科など他科と協力しながら、治療を行います。こころと身体は大きく関わりますので、こころを診る医師と身体を診る医師がいることが最大の利点です。



非常勤医師
こ はま 健夫
古濱 健夫

形成外科

患者さんの
最適な治療法を
選択していきます

毎週水曜日午前中に診療を行います。形成外科では、キズをきれいにし、まぶたのたるみを取り、できものを目立たないように切除します。またリンパ浮腫の治療にも力を入れています。さらに顕微鏡下での最新治療法で顔・手足を含めた部位で失われた形を戻すことができるようになってきました。患者さん一人ひとりの状況や希望をお聞きした上で最適な治療法を選択します。悩まれている方はご相談だけでもお受けしますのでお気軽にお尋ねください。



三重大学病院 教授(非常勤医師)
なる しま 三長
成島 三長

整形外科 ・ リウマチ科

新病院の一つの柱
「救急医療の充実」に
貢献します

整形外科では、骨折、四肢のけがなど事故やスポーツによる外傷をはじめ、膝、股関節を中心とした変形性関節症などの慢性的な痛みなどに対する治療を行います。新病院の一つの柱として救急疾患に対し迅速かつ確に対応できる救急体制が上げられています。救急搬送される外傷は整形外科に関与するものが多く、それに対して直ちに対応できる体制をとり、治療に努めます。また、慢性疾患に対しては、症状の程度により保存的治療と手術的治療の選択を考えながら、患者さんに応じた適切な治療を行います。



整形外科部長
まつ だ 理
松田 理



整形外科・リウマチ科部長
なか せ こ 健
中瀬古 健

乳腺外科

検査から治療まで
充実した乳がん診療を
提供します

乳腺外来は、専門の医師が担当し、女性医師による診察も選択できます。最新の医療機器を用いて患者さん一人ひとりに合った検査を行います。検査の結果手術が必要な場合は、センチネルリンパ節生検、広背筋や腹直筋による自家再建の手術も行います。

新病院では化学療法専門薬剤師、がん専門看護師、化学療法認定看護師が常勤し、放射線治療も受けられます。乳がん診療は検診を受けることが最も重要ですが、症状を自覚してから治療を開始しても、治癒する可能性が高い疾患です。何か気になることがあればご相談ください。



乳腺外科部長 (消化器外科も兼任)
こ に し 尚已
小西 尚已

眼科

新たなるスタート!
網膜疾患の専門治療、
手術に対応します

新病院では、毎日外来診療を行い、一般的な眼科疾患のほか、難度の高い白内障手術や全身状態に不安のある方や全身麻酔が必要な方は入院での手術が可能です。さらに、網膜剥離や糖尿病網膜症などの網膜硝子体疾患に対して小切開創から行う手術機器を導入します。地域の医療機関と連携し、桑名で高水準の医療を受けていただけるよう、スタッフ全員で診療にあたります。



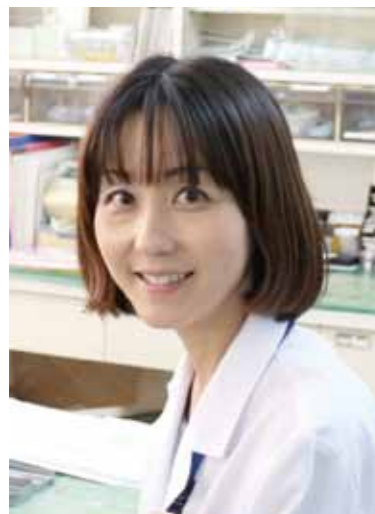
眼科部長
こ ざ わ 摩記
小澤 摩記

耳鼻咽喉科

保存的治療でQOL
(Quality Of Life=生活の質)
向上を目指す

耳鼻咽喉科では、五感のうち、聴く(聴覚)、嗅ぐ(嗅覚)、味わう(味覚)の三感と、バランス感覚(平衡覚)を担当しています。具体的には、「耳」・「鼻」・「のど」だけでなく、首より上の脳、眼、歯を除いた範囲を治療対象としています。

花粉症などのアレルギー性鼻炎、鼻血、中耳炎、めまいなど、身近な疾患も多く診療しています。新病院では、主に保存的治療で生活の質の向上を目指します。



非常勤医師

おぎはら
荻原 仁美

泌尿器科

患者さんと共に最適な
治療方針を考えます

泌尿器科では、泌尿器に関するすべての疾患を診療します。腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌などの悪性疾患に対しても、精密検査および手術、化学療法、放射線治療を行います。その他、当科の特色は、①排尿状態の改善をめざした生活指導、②漢方薬による冷え、むくみ、のぼせ、倦怠感、肥満などの治療、③手術困難な癌病変に対するラジオ波焼却術です。

また、新病院では尿流動体検査による正確かつ精密な排尿機能を調べることができます。



泌尿器科部長

きせ
木瀬 英明

皮膚科

症状に応じて近隣の
医療機関と
連携していきます

皮膚科では、湿疹・皮膚炎群・じんま疹・ざ瘡(にきび)・白癬(水虫)・帯状疱疹などの一般的な皮膚疾患のほか、アトピー性皮膚炎・尋常性乾癬・掌蹠膿疱症など慢性皮膚疾患の治療、皮膚潰瘍に対する保存的加療を行っています。

一般的な皮膚科診療が主体となります。入院治療が必要な患者さんや症状の程度に応じて近隣医療機関を紹介させていただきます。



非常勤医師

放射線科

正確、安全、迅速を
心がけ、患者さんの
診断治療に貢献します

放射線科では、画像診断、IVR(画像下治療)、放射線治療を担当します。画像診断:CT、MRI、血管造影、核医学検査、マンモグラフィで撮影した画像を元に診断し、正確なレポートを作成します。

I V R:画像診断装置で体の中を透かしながら治療する方法で、止血術やがん治療に対応しています。

放射線治療:新病院では、放射線治療装置を新たに設置し、桑員地区ではじめて放射線治療を行います。



放射線科部長

かわぐち
川口 達也

歯科口腔外科

桑名市唯一の
病院歯科口腔外科としての
役割を果たします

歯科口腔外科では、地域の医療機関と連携をとりながら、口腔外科基幹病院を目指します。

そのため、より専門的な口腔(くち)・顎(あご)・顔面(かお)の疾患に対し、手術のイメージが強い「口腔外科」だけでなく、口腔粘膜疾患や口腔乾燥症、口腔異常感症、味覚異常、さらには摂食嚥下障害への対応など「口腔内科」を含めた「口腔科」としての役割を果たします。



歯科口腔外科部長

おおしげ
大重日出男

救急科

「救急を断らない」
病院の実現を目指します

桑名市総合医療センターは、二次救急医療機関として桑名市の救急搬送患者さんのうち4割以上の患者さんを受け入れています。新病院では、搬送された患者さんの初期診療をER(救急室)で行い、適切な専門診療科や施設へ橋渡しをします。桑員地域の入院治療や手術を必要とする重症患者さん(二次救急)を確実に受け入れられるよう、救急専従の医師や看護師が中心となり、多職種の専門スタッフや各診療科によるチーム医療を実践します。



救急科部長

ささき
佐々木俊哉

リハビリ テーション科

他科と連携し、
リハビリ医療を積極的に
行います

リハビリ医療の進化とは医療の進化そのものです。かつては寝たきりにならざるを得なかった方が、リハビリ医療によってどんどん回復するようになりました。新病院では、リハビリスタッフがICUなどの超急性期の患者さんに対してもリハビリ医療を積極的にいき、よりよい状態で地域の医療介護システムへ移行できるよう橋渡しをします。併せて腎不全など慢性期疾患の方を対象に、地域生活に密着したリハビリ医療を提供します。



湖山リハビリテーション病院 院長(非常勤医師)
いん 祥洙

病理診断科

県内の病理医と共に
質の高い
病理診断をします

病理診断とは、病変部を顕微鏡標本にして観察し診断を下すもので、現代の医療になくはない分野です。最も信頼性が高い診断方法であり、治療法を選択や病態の解明にも有効です。病理医は全国的に不足しており、当センターでも常勤病理医は1名です。それを補うため、病理標本をデジタル化するなど、県内の病理医とネットワークを組んで質の高い病理診断を行います。



副理事長(病理診断科部長)
しら いし 泰三

麻酔科

患者さんの
手術を安全かつ快適に
サポートします

手術は、患者さんにとって大きな出来事です。私達麻酔科医は、患者さんがその出来事を出来るだけ安心して苦痛なく乗り越えられる様、スタッフと共にサポートします。

不安に耳を傾け、手術対象以外の体の不調や合併症、術後の疼痛や嘔気等に配慮し、患者さんそれぞれに最適な麻酔法を選択します。その上で、種々の機器と自らの五感を研ぎ澄まし、適切なモニタリングを行い、手術の負担を最小限にするように患者さんの体をお守りします。



麻酔科部長
みや はら 宮原ひろみ

部 門 紹 介

健 診 センター

■予約受付時間
月～金
13:00～17:00
■予約電話番号
(0594)-22-2831
※健診は完全予約制となります。



健康診断の最大の目的は、病気にならないようにする、あるいは病気になっても早期に発見して完全に治すことにあります。高血圧、糖尿病、動脈硬化などは、生活習慣の改善により予防し、進行を抑えることができます。「がん」であれば早期発見により完全に治すことも可能です。また、女性医師の診察が毎日あり、乳がん検診は全て女性スタッフが担当します。

新病院では、生活習慣病の予防とがんの早期発見を最大の目的とし、受診者の皆さんの大切な健康をお守りします。

【健診項目】

- ・人間ドック
- ・特定健診
- ・乳がん検診
- ・肺がんCT健診

健診をご希望の方や、興味のある方は、ご相談ください。

地域医療 センター

■相談受付
月～金
8:30～17:00

※ご予約の患者さんが優先となります。ご相談のさいは事前のご予約をお勧めします。



地域医療センターでは、「医療福祉相談業務」と「地域連携業務」の大きく二つの業務を行います。新病院では、地域の皆さんが安心して適切な医療を受けられるよう、地域の医療機関や福祉機関との連携の強化に努めます。

患者さんやご家族の相談窓口(医療福祉相談業務)

療養する上で生じる様々な問題について相談に応じるほか、退院サポートを行い、患者さんが安心して医療を受けられるようサポートします。社会福祉士の資格を持つ医療ソーシャルワーカーや看護師が担当し、必要に応じ地域の医療機関や福祉事業者と協力します。

地域の医療機関の窓口(地域連携業務)

かかりつけ医と当センターをつなぎ、患者さんが切れ目なく治療を受けられるようにすることが主な業務です。かかりつけ医の先生から紹介された患者さんを円滑に受け入れ、緊急の検査や治療を終えた後再びかかりつけ医の先生に診ていただくための情報提供を確実にしています。

外来棟

3F

中央処置室
外来受付



外来受付（ブロック受付） ※診療科配置は変更になる場合があります。

- A** 歯科口腔外科
- B** 内科、糖尿病内分泌内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、総合診療科
- C** 循環器内科、心臓血管外科・呼吸器外科、膠原病リウマチ内科、整形外科・リウマチ科、精神科

ブロック受付 A~F



ブロック受付で迷わない

各階に複数の診療科をまとめたブロック受付を設置しました。3階にA~C、4階にD~Fのブロック受付があります。たくさんある診療科を探すのは大変ですが、6つのブロックなら迷うことはありません。



中央処置室



手間なくスムーズに検査が受けられます

尿検査や採血検査は受けられる患者さんが多いので、移動が少なくなるよう外来棟へ配置しました。また、自動の受付機を設置し、検査の受付を的確かつスムーズに行えるようにしました。

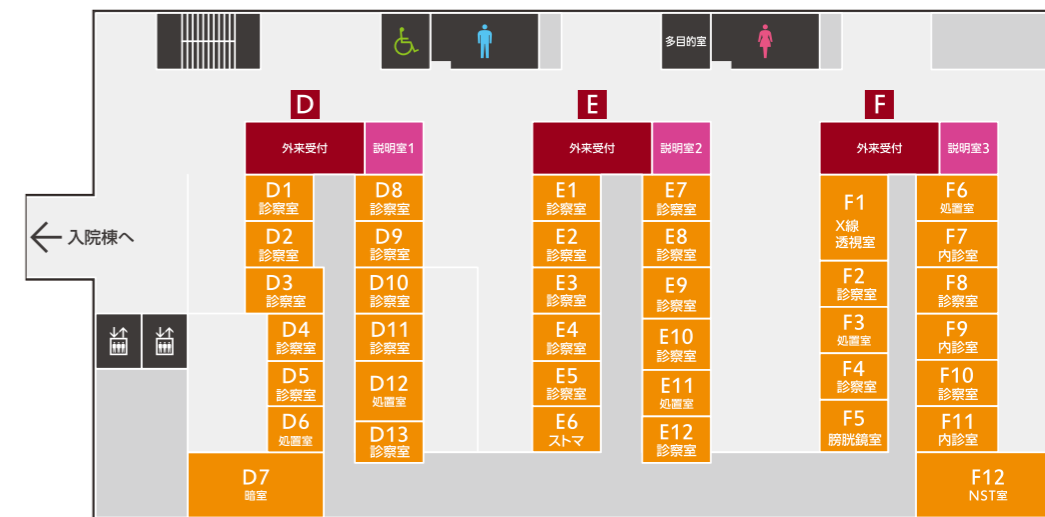
※採血・採尿受付機



外来棟

4F

外来受付



外来受付（ブロック受付） ※診療科配置は変更になる場合があります。

- D** 耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、小児科、小児心療内科
- E** 外科、乳腺外科、脳神経外科、脳神経内科、形成外科、皮膚科
- F** 泌尿器科、産婦人科

眼科 D



超広角走査レーザー 検眼鏡の導入

眼科には、無散瞳で網膜の端まで撮影できるカメラや網膜を断層で評価する最新の機器を導入しました。より詳しく細部にいたるまで、迅速・的確な診断が出来るようになります。

※オプトス社製 California ICG



泌尿器科 F

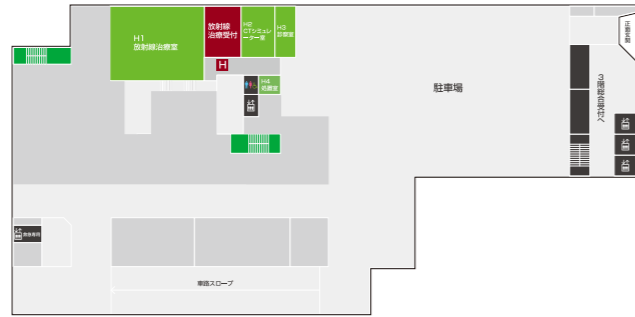


ウロダイナミクス 検査装置の導入

泌尿器科では、最新のウロダイナミクス検査装置を導入しました。膀胱や尿道の機能評価法で最も診断能力が高いといわれているビデオウロダイナミクスも含めた尿流動態検査を行います。

※エダップテクノメド(株)社製 アクエリアスCTS





? 放射線治療ってなに?

放射線を照射することでがん細胞を死滅させる治療方法で、手術、抗がん剤治療、免疫療法などと並んで、がん治療に欠かすことができません。がんの細胞は、正常な細胞よりも放射線によるダメージを受けやすく、正常な細胞の方が修復力が高いといわれています。その性質を利用して、何度も放射線の照射を繰り返すことにより、正常な細胞をあまり傷つけずにがんの細胞を死滅させることができます。

新たな第一歩!



桑員地区でがん治療が完結
最新鋭の放射線治療装置の導入



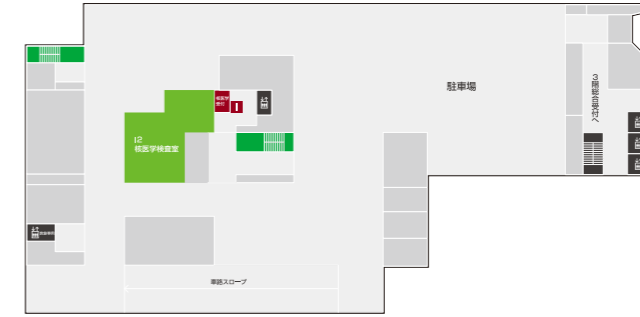
※放射線治療受付

放射線照射による 主な治療内容

- 初期の喉頭がんや子宮がんなどは、放射線治療だけで完治することができます。手術のように「がん」に侵された患部を切除しませんので、臓器機能を保存することができます。
- 乳がん、食道がん、大腸がんなどの多くの「がん」は、手術の前後に放射線や抗がん剤治療が併用されます。手術の治療成績を向上させるだけでなく、手術のできない進行がんに対しても、病巣を小さくして手術可能とする効果が期待されます。
- 臓器が「がん」に侵されますと、しばしば強い痛みを生じます。そのような場合にも局所へ放射線を照射することにより痛みを軽減させることができます。
- 高齢や全身状態が悪いため手術のできない人のがん治療に利用できます。



バリアン社製 CLINAC iX



? 核医学検査ってなに?

核医学検査とは、放射線を放出するアイソトープを含んだ薬を使って体の中の様々な臓器の血流や臓器の働き具合(機能)を調べ、病気の診断をする検査です。病気によってはCTやMRIよりも早く病気の状態を診断することができます。

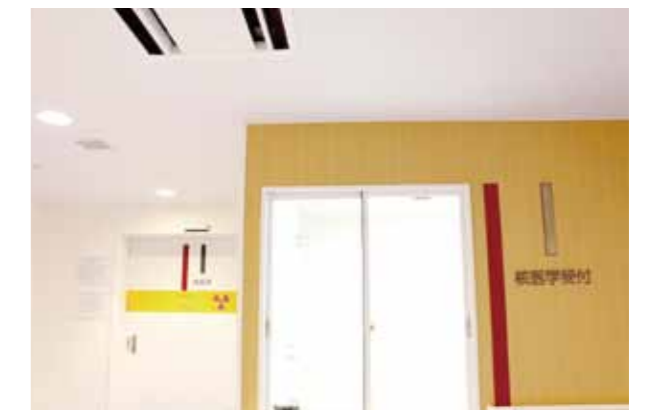
桑員地区初!!



高性能な核医学検査装置
(SPECT)の導入

核医学検査で こんなことがわかります。

- 脳の核医学検査
脳の機能や血流を調べて病気の判断をする検査で、脳梗塞、認知症、脳腫瘍、外傷などの診断に役立ちます。
- 心臓の核医学検査
心臓の筋肉のどの部分に血流が足りないのか、それは、治療が治る見込みがあるのかなどを判断する検査で、狭心症、心筋梗塞の診断ができます。
- 骨の核医学検査
がんが骨に転移していないかを確認します。また、その他多くの骨の病気を診断する検査で、骨腫瘍、骨の炎症、骨折などの診断ができます。



※核医学受付



シーメンス社製 Symbia Evo Excel

入院棟

3F

総合受付、救急室、地域医療センター
入院センター、内視鏡室、放射線室



エントランスホール

 **光が差し込む
エントランス**
ここに注目

待ち合いは、タイルカーペットで落ち着きがあり、ガラス張りの廊下から光が差し込む明るく開けた空間になっています。近くにカフェスペースも整備され、時間待ちなど様々な場合にご利用いただけます。



※総合受付

地域医療センター

 **プライバシーに
配慮した専用受付**
ここに注目

患者相談窓口が設置されており、治療に伴う様々な相談に応じます。また、「かかりつけ医」との窓口として紹介患者さんの対応もします。入院患者さんへの説明などを行う入院センターも隣接しています。



※地域医療センター(右)と入院センター(左)

放射線受付 J

 **3テスラ、1.5テスラの新規MRI装置の導入**
ここに注目

最新のMRI装置を2台導入し診療機能を強化しました。2台体制になることで、予約が取りやすくなります。特に3テスラMRI装置は、鮮明な全身の高画質画像を撮影することができ、脳神経や子宮、卵巣、骨や関節などへの疾患の診断に威力を発揮します。奥行きが173cmと短く、開口も70cmあるので、圧迫感も少なく、検査を受ける皆さんの不安を和らげます。



※シーメンス社製 MAGNETOM Sempra



※シーメンス社製 MAGNETOM Skyra

放射線受付 J

 **2管球・256スライス
CT装置の導入**
ここに注目

最新のCT装置を導入しました。この装置は、小児や心臓の撮影など短時間撮影に威力を発揮します。被ばく線量の低いのが特徴で、検査を受ける皆さんの負担が軽くなり、迅速かつ効率的な撮影が可能です。



※シーメンス社製 Definition Flash

救急外来 L

 **救急専用搬送路を
整備しました**
ここに注目

救急外来は3階にあります。1階から直接救急外来へとつながる救急専用エレベーターや救急車専用搬送路を整備し、救急患者さんに素早く対応できる構造になっています。

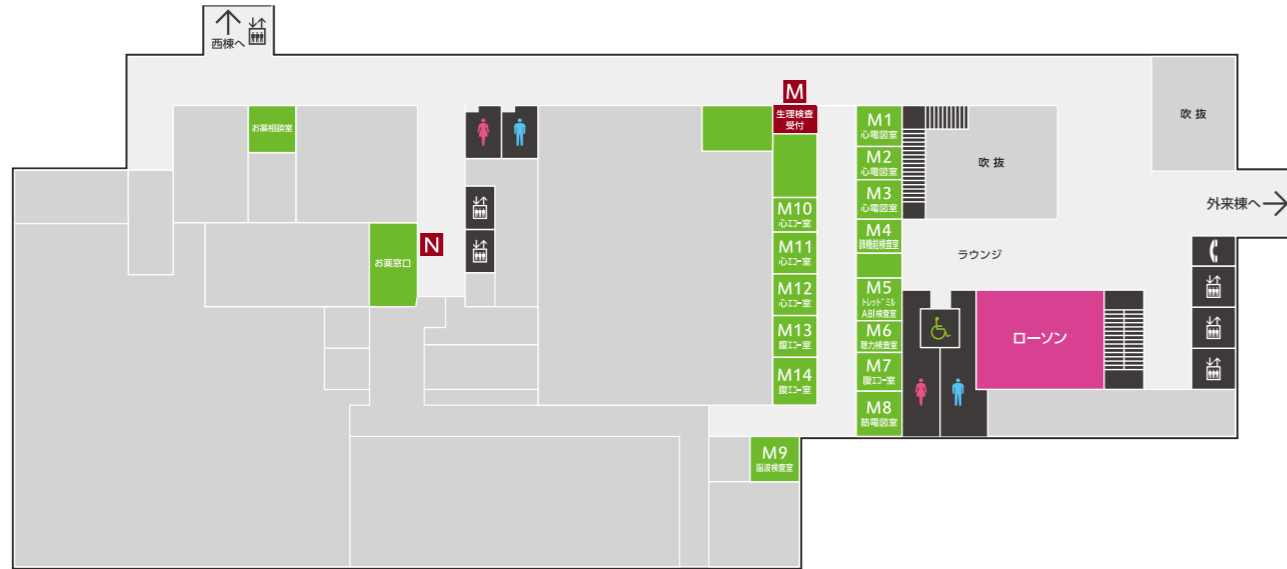


※救急車専用搬送路

入院棟

4F

お薬窓口、生理検査室、売店



ラウンジ



ゆっくりくつろげるラウンジ
スペースが出来ました

エントランスホールの階段を上った場所にラウンジコーナーを整備しました。
三重県産の木材を使用した、温かみのあるテーブルとイスを配置しています。
目の前のローソンには、一部医療用品も取り揃えております。



中央検査部門



エアシューターの導入

中央採血室や救急外来で採血された血液は、エアシューターで検査室まで届けられます。
さらに、病棟の検体は、専用のエレベーターで届けられるようになり、よりスムーズな検査が可能となります。

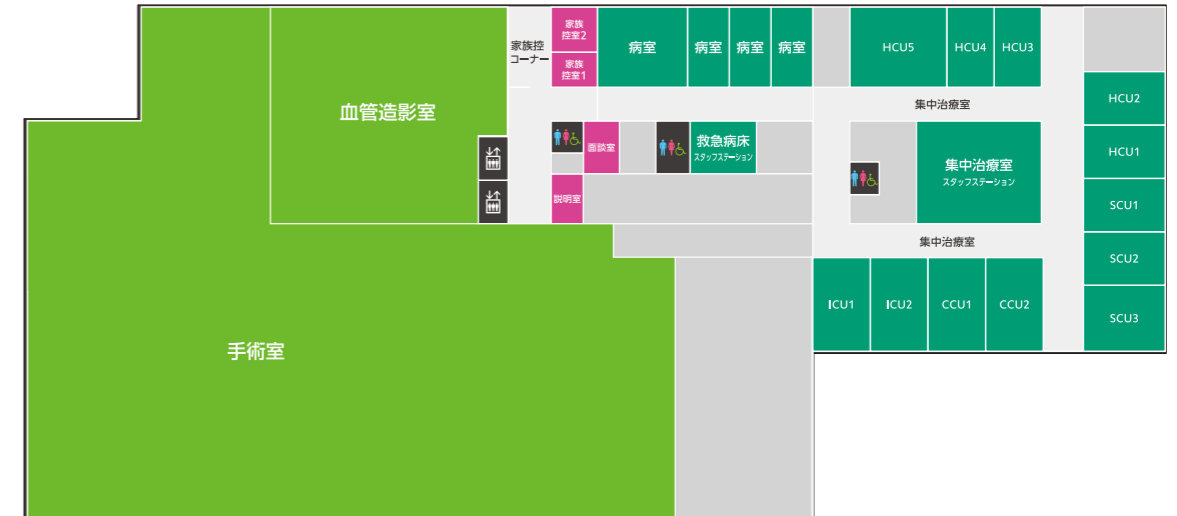


※外来棟とつながるエアシューター

入院棟

5F

集中治療室 (ICU・CCU・HCU・SCU)
手術室、救急病床



フラットパネル(FPD)搭載型アンギオ装置の導入



緊急検査・治療に
対応します

優れた画像処理技術により最適化された画像がリアルタイムで得られるようになります。また、X線被ばく量の低減、検査時間の短縮、造影剤使用量の低減により、患者さんの負担が少なくなります。



※フィリップス社製 Allura Clarity FD 10/10

手術室



7つの手術室を
整備しました

患者さんが安心して手術が受けられるよう、患者さんの安全・安心を第一に考えました。
また、手術の部屋ごとに色を変えて部屋間違いが起これないように工夫しました。



※手術室

入院棟

6F

南病棟：小児科、混合病棟、NICU・GCU
北病棟：産婦人科



6F 病棟



**安心できる環境で
過ごすことができます**

6F病棟は、お子さんが入院する病棟のため、保護者の方が安心できるよう、セキュリティシステムを導入しました。来院者が病棟に入る時は必ず中のスタッフが対応するので、安心できる環境で過ごすことができます。



※セキュリティシステムの導入

分娩エリア



**リラックスして
分娩に望めます**

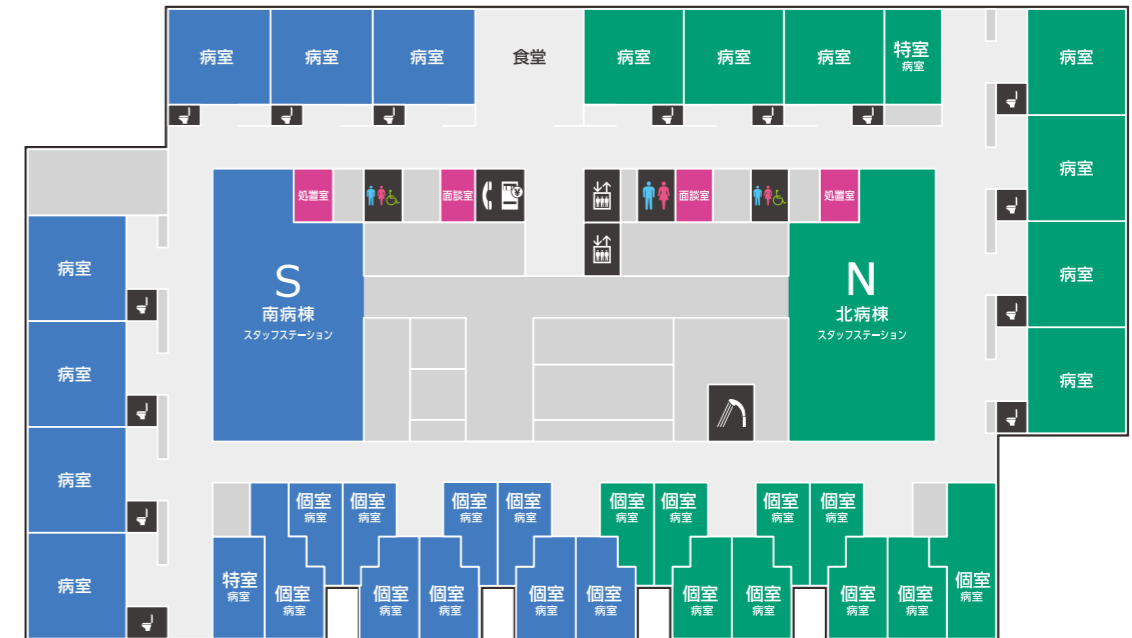
陣痛、分娩、回復までを同じ部屋で過ごすことができるLDR (Labor Delivery Recovery) 分娩室を整備しました。お産の進行によって分娩室に移動する必要がないため、精神的にも肉体的にも負担が軽くなります。



※LDR 分娩室

入院棟

9F 南病棟：脳卒中センター、脳神経内科、混合外科 北病棟：整形外科、リウマチ科、泌尿器科
8F 南病棟：消化器センター(外科)、歯科口腔外科 北病棟：消化器センター(内科)
7F 南病棟：腎臓内科、混合内科 北病棟：循環器センター



スタッフステーション



**チーム医療を
円滑に行える空間**

患者さんへ質の高い治療やケアを行うため、医師や看護師、メディカルスタッフによるチーム医療を円滑に行える空間を作りました。また、サテライトファーマシーを整備、薬剤師が常駐し処方に関する総合的な管理をします。



※スタッフステーション

病室



**スタッフ自ら検証して
完成した病室**

北病棟を緑色、南病棟を青色とし、目で見て居場所がわかる病棟デザインです。すべての病室のベッドが、電動ベッドになっており、快適な入院生活を送ることができます。



※4床病室